エロディヤッド

HERODIADE

ステファンヌ・マラルメ　Stephane Mallarme

青空文庫

ヒュイスマンスの小説『さかしま』の主人公ジァン・デ・ゼッセントが愛吟、マラルメ作『エロディヤッド』の斷章

一

……噫なんぢ、鏡よ、
愁によつてその縁の中に凍りたる水よ、
いくたびも、いく時も、我が夢を悲み痛みて、
なんぢが底深き氷の下に沈みたる
落葉に似たるわが思出を求めつゝ、
われは汝の奥にはるかなる影とあらはる。
しかも、あゝ、夕となれば冷然たる泉の中に、
亂れ散るわが夢のはだか身を知る怖かな。

二

エロディヤッド

げに唯わが爲にわが爲に、孤り空しくわれは咲きにほふと、
汝等こそは知れ、眩ゆくも入組みたる谷窪の奥に、
はてしなく埋もれて、紫水晶の色に映ゆる園生よ、
太古の土のをぐらき眠の下に隱れゐて、
上つ世の光を守る、人知らぬ黄金よ、
または純なる珠玉の如きわが雙の眼が
嚠喨たるその明光を假り來る汝寶石よ、
つゞいては、このわが若き盛の雲の髪に、
末恐ろしき美々しさとおもたげの振とを添ふる汝諸金銀よ、
さて汝女人よ、小賢しき末の世に生れあひて、
口寄巫女が栖む洞穴の惡事をなすべき身なるに、
めづらしや、人間の語を引いて、匂はげしき空焚の薫じたる
わが打掛の花の蔓のもなかより、
裸體の白き身慄は、ぬけいでむといふか、
さらば豫言せよ、おのづから女も衣を解くといふ
肌ぬるき眞夏の青空の眼に、
星の如く慄ふわが恥の身の觸れたらば、
われは絶入らむと。

われは處女の荒まじさを愛す、
ねがはくば、この髪の毛に浮ぶ怖を身につけまとひ、
夕ざれば臥所に入りて、このまだ犯されぬ
蛇の如きわが無益なる肌身を
汝が蒼白の光に散る冷ききらめきに任さむ、
今ぞ限と見ゆる汝よ、淨き心に燃ゆる汝よ、
垂氷は光り、無情の雪降る白き夜よ。
また孤獨なるその妹、噫永久のわが妹、
わが夢つねに汝に向はむ、かく思ふ時早くも

わが心、世に珍らしく澄みわたりゐて、
無爲寂寞の國に孤り立つを覺ゆ、
周圍の萬物皆悉く一面の鏡にむかひて、
眠るに似たるそが靜寂のおもてなる、
夜光の玉の眼差のエロディヤッドの影を拜す、
噫究極の美なるかな、げにわれこそは孤りなれ。

めのと

悲しや、姫ははかなくなり給ふか。

エロディヤッド

否とよ、おうな、
心靜かにこゝを去れ、立去りながら、わが無情をゆるせかし、
まて、そのまへにこの窓の戸を閉ぢよ、
厚きぐらすを透きて、セラフ天女の如くほゝゑみたる
その青空、清き青空は堪へ難くうるさし。

見よ夕波の
たゆたひて、知らずや、かしこ掻曇る夜の一天、
葉越にもゆる金星のものすさまじき
憎しみの眼をもて瞰むかの邦を。
われはそこへ行かむ。

ともしびをまたも挑げよ、
をさな氣の戲ならず、蝋の火は輕き焔に、
金燭を空しくなめて、珍らしき涙流しつ、
また……

めのと

さてまた

エロディヤッド

さらば、さらば
噫わが唇の裸の花は
眞を言はず。

何事かえ知らぬ事の近づくよ、
或は蓋しわが口は、身に迫り來る不思議をも
おのが叫の心をも、つひに曉らで傷つける
幼き年の滅びゆく吐息を洩し夢の緒に
貫きたる冷き寶玉の散りこぼるゝを思ふらむ。

青空文庫情報

底本：「上田敏全訳詩集」岩波文庫、岩波書店
1962（昭和37）年12月16日第1刷発行
2010（平成22）年4月21日第38刷改版発行
初出：「三田文学　六ノ九」
1915（大正4）年9月
※原題の「〔HE'RODIADE〕」と著者名の原綴り「〔Ste'phane Mallarme〕」は、ファイル冒頭ではアクセント符号を略し、「HERODIADE」、「Stephane Mallarme」としました。
入力：川山隆
校正：岡村和彦
2012年11月5日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

エロディヤッド

HERODIADE

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

著者　　ステファンヌ・マラルメ　Stephane Mallarme
URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/